

# 渡辺大三 週刊 NEWS



【会派 NEWS】 2020(令和2)年1月23日号 週刊 Vol.46  
ご意見ご要望はお気軽に 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301  
TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074  
watanabedaizou@gmail.com 公式サイト daizou.org

## 「都道2路線」新設問題に関する市民意向調査

# 市長、「世論誘導」を狙う設問

結果に疑問を持たれる不公正な設問や添付資料は見直すべき

昨年12月の市長選で大きな争点となったのが「都道2路線」新設問題でした。

現職・西岡市長は、当初、東京都の事業だから市がどうこう言う立場にないという無責任な姿勢でしたが、態度は二転三転、市長選の時点では一応、「市民の望まない道路はつくらせない」と大きくビラに書いていました。「定見がない」というのはこういうことを指して言うのでしょうか。

一方、新人・かわの候補は「都道2路線」新設に「条件付き賛成」の姿勢を明示し、新人・森戸候補は「きっぱり反対」の姿勢を示しました。

### なぜか回収された設問(案)

市長選が終わり、西岡市長は、今年2月末に実施する予定の市民意向調査の設問(案)や同封する資料(案)を市議会の全会派に提示しました。

市長側は提示したものの、なぜかしらその場で回収。議員の手元には残りませんでした。これでは市民の皆様には「案」の内容をお知らせすることができません。そこで私は、1月9日、市長に対して情報公開請求しました。

その結果、1月20日、私に対して「案」が公開されました。一定の分量があるので資料(案)の方は掲載できませんが、設問(案)を裏面に掲載しましたので、まずは御一読ください。

### 計画推進項目は「8項目16行」

### 計画反対項目は「7項目10行」

市長側が提示した設問(案)は全部で16項目あるのですが、16項目目は自由記入なので、実質的

な設問は15項目あります。このうち、「都道2路線」新設のメリットを掲載しているのは奇数の番号の項目で計8項目、行数は16行を使っています。一方、新設のデメリットを掲載しているのは偶数の番号の項目で計7項目、行数はわずか10行だけです。この時点で、設問(案)の作成者である市長の意図がある程度推定することが可能です。

私は、市長側に、「項目数や行数を平等にして、世論誘導をしたと言われぬようにした方がいいのではないか」と指摘しました。

### さらに露骨なのは資料(案)

今回は掲載できませんでしたが、さらに露骨なのは資料(案)です。

南北道路(3・4・11号線)の計画図には、説明として「3・4・11号線予定地周辺では、生活道路を抜け道として使う事を抑制するために、年間約220万円で交通誘導員を配置し、時間帯によって通行制限を行っています。」とだけ記載されています。東西道路(3・4・1号線)の計画図には、説明として「3・4・1号線はムジナ坂やはけの小路の直上を通過していく計画となっています。ムジナ坂は大岡昇平「武蔵野夫人」ゆかりの地です。」とだけ記載されています。

これでは、市民意向調査において「世論誘導」があったと批判されても仕方がない事態となります。「市民の望まない道路はつくらせない」と大言壮語する市長自身が、望んでいるかいないかを「演出」するのはいかがなものでしょうか？

設問や資料を作成するにあたっては、事案に対する中立性の確保が何よりも大事です。(了)